

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	狭山市			
提案事業名	“オール狭山”で東京2020大会の機運再醸成及びレガシー創出事業			
事業期間	令和2 年度 ～ 令和2 年度			
事業の必要性、目的	1年延期となった東京2020大会の機運を再び高め、ゴルフ競技開催会場としての認知度向上を目的に、PRコンテンツの制作や市民参加型事業の展開、市内の祝祭感演出を実施する。また、世界最大のスポーツ及び文化の祭典であるオリンピック・パラリンピックに市民などが参加し、主体的に携わっていることを認識してもらうことで、レガシー創出につなげていく。			
成果指標	(成果を検証する指標) 狭山市オリンピック準備室公式ツイッター発信における令和2年度の総インプレッション (ユーザーがツイッターでツイートを見た合計回数)			
	(成果検証の具体的な方法) 狭山市オリンピック準備室公式ツイッター発信における令和2年度の総インプレッションをカウントする			
	(上記の指標を設定した理由) オリンピック・パラリンピックの情報やそれに関する狭山市の取組などを発信するツイートのインプレッションが、市民における大会認知度につながるため。			
	(成果の目標値)			
	現状値 (2年5月現在)	H31年度実績 361,052回	目標値 (3年3月時点)	500,000回
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	市公式ホームページ等で公表する。			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 東京2020大会機運再醸成事業	ソフト 1年延期となった東京2020大会の機運を再び高め、ゴルフ競技開催会場としての認知度向上を目的に、PRコンテンツの制作や市民参加型事業の展開、市内の祝祭感演出を実施する。	5,255
② 東京2020大会レガシー創出事業	ソフト 世界最大のスポーツ及び文化の祭典であるオリンピック・パラリンピックに市民などが参加し、“オール狭山”で盛り上げていき、主体的に携わっていることを認識してもらうことで、レガシー創出につなげていく。	3,247
③	ソフト	
合計		8,502

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	取組に対する周知が重要であることから、市公式ホームページ内に設置されている東京2020大会専用コンテンツなどにおいて、積極的に取組をプロモーションしていく。
成果指標の達成見込み	東京2020大会については、市民における潜在的な関心が確認できることから、観光振興等の他分野の事業等と連携したり、市民と協働して進めていくことで指標の達成を図る。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。